

## 東区社会福祉協議会と

## オンライン会議実施

一月二十五日(月)に矢賀学区社会福祉協議会(矢賀社協)と東区社会福祉協議会(東区社協)が、オンライン会議を開催しました。

当初は矢賀中央集会所で打合せをする予定でしたが、新型コロナウイルスの関係で自粛要請が延長されたため、急遽オンライン会議に切り替えたものです。

矢賀社協では、初めてのオンライン会議のため、事前に東区社協と接続のテストを行い、当日に備えました。

オンライン会議には、山本会長は都合により欠席となりましたが山田事務局長・光永福祉推進委員が出席し、あらかじめ配布された会議資料に基づいて議事は進められ、約一時間半で滞りなく終了しました。

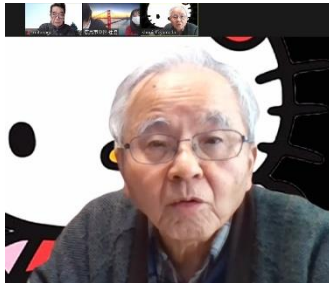
パソコンやタブレット端末を利用したオンライン会議が、人と接することなく、自宅に居ながらにしてできることを今回の会議で実感しました。

今後3密をさけたオンライン会議が色んな場面で開けるよう、検討を進めていきたいと考えています

皆さまのご協力とご支援を賜りますようお願いいたします。



オンライン会議の様子



発言中の山田事務局長

矢賀学区だより 編集委員会

## アイパッドを各種団体に配備

矢賀学区社会福祉協議会では、コロナ禍に対処するため、アイパッドを広島市から借用し、矢賀学区連合町内会ほか学区内の各種団体に貸し出しました。

新型コロナウイルス感染症予防のため、3密を避けた会議などが必要とされていますが、アイパッドを利用したオンライン会議の開催で、少しでも各種団体の活動の補助になるよう計画したものです。

二月十三日(土)には矢賀中央集会所でアイパッドを使用したオンライン会議の進め方について講習会を開催しました。



講習会の様子

この端末を利用して、矢賀学区内各種団体の活動が活性化できるよう、色々検討を進めていきたいと考えています。

矢賀学区社会福祉協議会 事務局

### 小学校だより

平成二十八年四月一日に矢賀小学校に着任して、五年が経とうとしています。私は、この三月三十一日をもつて定年退職いたします。長い間本当にお世話になりました。また、地域の皆様には、いつも温かく見守っていただき感謝しております。

本来なら、お世話になった皆様に直接お会いしてお礼を申し上げるべきところですが、このような状況ですので、この紙面を拝借させていただきます。

この五年間、様々なことがありましたが、最も心に残っているのは、矢賀独自の地域行事です。その中でも、「ふれ愛・イン・やが&防災フェア」は、地域・PTA・学校が連携協力して行うもので、他の地域ではなかなか実現しないものだと思います。また、十一月の実施に向けて、各団体の代表が月に一回、集まって、話し合いを行っているところにも感心しました。また、その内容にも感心させられました。

近年、毎年のように自然災害が発

生したり、また、昨年度からの新型コロナウイルス感染拡大によりこれまでのような日常生活を送ることができなくなったりしています。そのよ

うな中、一人一人が自分事として防災意識を高めていく必要があります。「ふれ愛・イン・やが」は、「防災」について子どもたちが家族や地域の人たちと一緒に考えることのできる行事だと思えます。今年度は残念ながら実施できませんでしたが、来年度はできるようになることを願っております。

「ふれ愛・イン・やが&防災フェア」のよさはたくさんありますが、私の一番は、反省会です。

この反省会では、たくさん地域や保護者のみなさんとお話しすることができました。そして、お話を重ねることで、校長としてだけではなく、一人の人間として相手をしていただいたのが、とても心地よく、ありがたかったです。コロナが収束して、また、みなさんとお話しできる日が来ることを願っております。その時まで、みなさん、お元気で過ごしてください。

### 三月の行事

- 1日(月)委員会
- 12日(金)卒業式リハーサル
- 19日(金)卒業証書授与式
- 24日(水)給食終了
- 25日(木)修了式
- 26日(金)学年末休業

### お知らせ

○3月19日(金)の卒業式は、教育委員会からの指示で、卒業生と保護者のみで行います。したがって、昨年同様、来賓の招待は行いませんので、ご了承ください。

○離・退任式についても体育館に集って式を行うことができませんので、テレビを使って子どもたちとお別れ会を行います。こちらについてもご承知おきください。

### 幼稚園だより

#### 「感謝とよもい」

園庭の桜の蕾が膨らみはじめました。卒園、進級を間近に控え子どもたちは、それぞれに自信を深め、新しい春に期待を膨らませながら日々を元気に過ごしています。

今年度は、新型コロナウイルス感染症予防のため園生活や行事に配慮しながらの一年でしたが、地域の皆様や保護者の皆様に温かいご支援をいただき無事にまとめの時期を迎えることができました。

五歳児は、三月十八日に卒園式を迎えます。昨年同様、卒園児と保護者、職員のみでの式となります。お世話になった地域関係者の皆様に卒園する子どもたちの姿をご覧いただきたいところですが、感染症予防のため「新しい生活様式」に則って行う予定です。また、四歳児は翌十九日に修了式を迎えます。その後は学年末始休業(春休み)に入ります。休みの間は、家庭や地域で引き続き、健康管理に気を付け元気に過ごしてほしい。

広島市立矢賀小学校

校長 原 徹

しいと思っています。

五歳児は二月十六日に地域の方に  
お世話になり、広島東照宮へ『チャレ  
ンジ遠足』に行ってきました。幼稚園  
を出発し才藏寺、二葉中学校、広島  
東照宮へと歩きました。長い道のり

でしたが、どの子も五歳児らしく交通  
ルールを守り、参加してくださった  
三名の方に見守られしつかりと歩き  
ました。才藏寺では、可児才藏吉長  
氏のことや、みそ地蔵さんに伝わる  
お話を聞きました。とてもわかりや  
すく伝えてくださり子どもたちは  
真剣に聞いていました。二葉中学校  
では温かく迎えていただき、池の鯉  
を見せてもらいながら休憩させてい  
ただきました。快く受けてくださり  
地域のつながりを有難く感じました。  
歩を進め到着した東照宮では、長  
い階段をどの子も自分の力で歩き切  
りました。地域の方が優しく支えて  
くださり、最後の子どもが唐門に到  
着すると温かい拍手を送ってくださ  
いました。子ども心に、人とのつな  
がりの温かさが実感として伝わった  
瞬間でした。

境内でお話を聞き、昔はここから  
海や似島が見えていたことを教えて

もらいました。当時の風景に思いを  
巡らせひとときを過ごし、『小学校  
に行くようになったら勉強頑張れま  
すように』元気で過こせますよう  
に』とそれぞれに心の中で願いま



地域の方と一緒に  
広島東照宮へ

東照宮から二葉の里歴史の散歩道  
を通じて、広島駅へ向かいました。

子どもたちは、地域の歴史や文化  
に触れたこと、長い道のりを自分の力  
で歩いたこと、晴天に恵まれ春の風  
景を感じながら過ごしたことに大き  
な満足感や達成感を感じていました。  
芸備線の車窓から園庭の四歳児が  
見えた時には歓声があがり、同時に  
ほっとした表情も見えました。幼稚  
園に到着し、お世話になった皆さん  
に感謝の気持ちを伝えてチャレンジ  
遠足を終えました。地域の皆さんの

おかげで、子どもたちは貴重な冒険  
ができました。体験したことを心の  
中に積み重ね元氣な一年生になるこ  
とと思います。引き続きお見守りい  
ただきますようお願いいたします。

この体験を通して、地域の中で育つ  
子どもとして貴重な学びを多くいた  
だいたこと、地域の皆さんとのつな  
がりが子どもたちの心に大きな安心と  
信頼の種として蒔かれたことをあら  
ためて実感しました。矢賀幼稚園が  
地域の方に支えられここにあること  
のよさをあらためて感じるとともに、  
感謝の思いで一杯です。次年度も、引  
き続きお世話になります。どうぞよ  
ろしくお願いいたします。

二月の終わりは暖かさで寒さが交  
互に訪れるような日々でしたが、や  
つと春らしい暖かい日が多くなつてき  
ました。次年度も『新しい生活様式』  
での幼稚園生活を送ることになると  
思いますが、子どもたちにとつてよ  
り豊かな体験を積み重ねることがで  
きるよう、職員一同力を合わせて参  
ります。子どもたちの姿を直接にこ  
覧いただく機会は少ないかもしれま  
せんが、ホームページでの発信などを  
通してお知らせしていきます。

子どもたちは、例年とは違う一年  
を子どもなりに感じながらも元氣に  
過ごし成長し、それぞれに次のステッ  
プに進みます。これからの生活がど  
うか穏やかであるようにと願いな  
ら、送り出したいと思えます。地域の  
皆様、保護者の皆様には、引き続き  
温かいご理解とご協力を賜りますよ  
うよろしくお願いいたします。



朝のマラソン風景

三月の予定

- 2日(火)なかよし広場
  - 3日(水)ひなまつり会
  - 18日(木)修了証書授与式
  - 19日(金)修了式
  - 20日(土)4月7日迄春休み
- \*令和三年度園児募集中



矢賀幼稚園 IP

広島市立矢賀幼稚園

園長 木村みゆき

## 児童館だより

いよいよ今年度も残りわずかとなりました。

今日は、児童館の隅っこに1本のつくしをみつけました。春の訪れを感じます。

いろいろな制約もある中での一年でしたが、自分で時間を見て何をずる時間かを考え動いたり、友達の気持ちを考えて、良くない態度を考えるよう意見をしてくれたり、工作があまり好きではなく、単純作業も根気が続かずめんどくさがっていたのに黙々と丁寧に取り組むようになったり、いろんな場面で大きく成長した子どもたちの姿を嬉しく、頼もしく感じているこの頃です。

児童館だより2月号では、川柳の募集を行いました。小学校にご協力をいただき応募箱を設置させていただきました。今年度ならではの子どもたちの素直な、そして可愛らしい気持ちが表示されている素敵な作品がたくさん集まりました。

応募作品は児童館だより3月号に掲載したいと考えています。楽しみにしていただいください。

今年度は、新しい生活様式で考えさせられたこと、新たに発見したこと、気づかされたことがあります。ただ、どんな時も私たちは、子どもたちの笑い声、笑顔に囲まれ、何よりの心と体のエネルギーになりました。

また新しい年度が始まりますが、子どもたちや、保護者の皆様にとっで安心できる、笑顔がたくさん見られるよう奮闘していきたいと思えます。

どうぞよろしくお願いいたします。

6日(土)令和3年度

放課後児童クラブ入所説明会  
(利用承諾書が届いた新1年生、  
新2年生のご家庭が対象)

広島市矢賀児童館



こんにちは

## 保健師です



少しずつ暖かくなり、活動しやすい気候になってきましたね。

ふだんから元気に体を動かすことで、糖尿病、心臓病、脳卒中、がん、口コモ、うつ、認知症などになるリスクを下げることができます。

「新しい生活様式」においても、生活の中で体を動かす機会をみつけたら、少しでも元気に体を動かす工夫をしましょう。

◆日々の健康を維持するために、体を動かしましょう

国が示している「健康づくりのための身体活動指針(アクティブガイド)」では、「1日60分、元気に体を動かすこと」を奨励しています。

通勤で歩くことや階段を利用すること、家の中で掃除したり庭の手入れをすることなども身体活動(体を動かすこと)です。

「1日60分」は連続した時間では

なくてもかまいません。まずは、今より10分多く体を動かす「+10(プラステン)」から始めましょう。

◆新しい生活様式における身体活動のポイント

「新しい生活様式」における、さまざまな場面で、次のポイントを意識しながら、活動的に過ごす工夫を試みましょう。

① 屋外で運動する時は、人に近づきすぎず、他の人が触れる場所にできるだけ触らないようにしましょう。

② 家の中で、動画やテレビ番組、ラジオ放送などを利用して体を動かしてみよう(ラジオ体操など)。

③ 長時間の座りすぎをできるだけ減らし、できれば30分ごとに3分程度、少なくとも1時間に5分程度は、立ち上がって体を動かすようにしましょう。

東保健センター地域支えあい課

保健師 小松 彩乃

☎082-5568-7729